

演題名	病院SNSにおける定期的な投稿数の確保～はじまりの章～		
施設名	西伊豆健育会病院	ふりがな 発表者(職種)	もりい まみ 森井 真実 (健診事務)
ふりがな チーム名	はーとらいん Heart Line		
分類	⑥その他		
取り組種別	課題達成型		
改善しようとした 問題課題	病院のSNS(アメブロ・インスタ)の投稿数がなかなか増えない。何とかしたい。 もっと西伊豆健育会病院の知名度や取組を広くPRして新たな広報活動を展開したい。と課題を頂きました。 そこで、実際に調べてみると、職員への知名度も低く、投稿の決まりもなく、誰かがやるだろという感じでした。 SNSの効果は絶大であり、とりあえずやってみようと思われ立ち上がりました。やるなら楽しく進めたい。		
改善の指標と その目標値	(指 標) SNSの投稿数 (目標値) ◆アメブロ:(週3件)月12件 / ◆インスタ:(週4件)月16件		
実施した対策	投稿者を広げる為、募集案内と、現状把握データを各部署に説明。 職員に向けて、苦手な人向け資料作成し職員に配布し、QRコードのポスターを各部署に配布・掲示。 メンバー把握し、アメブロとインスタのチーム分けをした。1か月の投稿予定表を作成。チーム勉強会も行った。 投稿時注意点マニュアルを作成、投稿確認方法も決めて共有した。 チーム名を決めて、ラインワークスでグループを作成し気軽に話しあった。		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 3か月平均 ◆アメブロ:週1.9件 月7.6件 ◆インスタ:週0.43件 月1.7件 (実施後) 6/1-14(2週間) ◆アメブロ:8件→月にすると16件 ◆インスタ:14件→月にすると28件		
歯止めと 標準化	標準化:管理画面から投稿件数、実施状況などを毎月確認してチームで共有 教育:新しいメンバーや希望者に、分かりやすく説明していきます 維持管理:投稿者を増やすため、3か月ごとに各部署へ工夫をこらし働きかけをします チームワーク向上:半年に1回は、食事会を開きたい		
活動の種類 ※複数選択可	③テーマに合わせて形成したチーム活動 ②複数の職場が連携した活動	チーム メンバー (職種)	1 森井 真実 健診事務
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		2 山本 多見子 MSW
活動期間	2025年3月 ~ 6月		3 神田 純子 MSW
リーダー名 (職種)	森井 真実 (健診事務)		4 近持 季英 健診事務
活動回数	1 回		5 外岡 肇 総務
			6 須田 渚 理学療法士
			7 須田 勝太 クラーク

現状把握

当院のSNS (3/5現在)

Ameba ブログ(アメブロ)
 ・2013年8月から開始
 ・投稿件数 2025年1月から3月 月平均 **9.3**件
 ・現在のフォロワー 51

Instagram (インスタ)
 ・2024年12月から開始
 ・投稿件数 開始から **5**件
 ・現在のフォロワー 32

アメブロ・インスタの投稿者

Ameba ブログ
 ・医療連携室 3名
 ・総務: 1名
 ・栄養科: 1名
5名

Instagram
 ・医療連携室 1名
1名

健育会グループ

アメブロ・インスタを利用している **7** 病院と比較

3ヵ月間の **アメブロ** 投稿件数・・・2024年12月から2025年2月

7病院 平均投稿件数	西伊豆健育会 投稿件数	12月	1月	2月	合計
46件	23件	7件	7件	9件	23件

健育会グループ

アメブロ・インスタを利用している **7** 病院と比較

3ヵ月間の **インスタ** 投稿件数・・・2024年12月から2025年2月

7病院 1か月平均投稿件数	西伊豆健育会 1か月平均投稿件数	12月	1月	2月	合計
31件	1.7件	4件	1件	0件	5件

職員アンケート：全職員138名 ラインワークスを使用
 回答 87名 63%

Q1
年齢を教えてください



職員アンケート：全職員138名 ラインワークスを使用
 回答 87名 63%

Q2
当院のSNSを知っていますか？



かなり少ない!
(*_*)

職員の年齢層の高さにびっくりです。また、半数近くが当院のSNSを知りませんでした。

攻め所の選定

ギャップシートをもちいて、ありがたい姿から攻め所候補を抽出しました。

ギャップシート

	ありたい姿	現在の姿	ギャップ	攻め所候補	目標	期待効果	採否
日常的にこの投稿ができる	投稿者が多数いる(多職種)	3部署(5名)	何年も変わらず3部署	他部署に広げたい	若い投稿者の発掘	◎	採
	職員からイベント等情報が集まる	偶然的にキャッチ	職員が病院のブログやインスタの事を知っていない	職員に興味を持ってもらいSNSの世界へ引きずり込む	職員がSNSを知り写真や動画に抵抗が無くなり、更に情報ももらえる	◎	採
	『楽しく』投稿できる	義務的な感じ	楽しめていない	皆で協力して投稿できる	連帯感を感じる	○	採
	投稿の注意点が分かっている	何となく分かっている投稿時の確認作業がありUPするまで時間がかかる	投稿に手間がかかる	注意点の資料投稿確認作業の簡素化	分かりやすいマニュアルの作成	◎	採
どうしたらいいかわからない時は相談ができる	相談していない	投稿者1人が苦勞している感じ	気軽に話しあえる	定期的なチームでの会合	○	採	

活動計画書の作成

活動計画表

手順	ステップリーダー	3月	4月	5月	6月
1	テーマ選定	山本			
2	現状把握	森井			
3	攻め所と目標設定	神田			
4	活動地の作成	山本			
5	方策の立案	近持			
6	成功シナリオの追求	神田			
7	成功シナリオの実施	森井			
8	効果の確認	神田			
9	標準化と管理の定着	森井			
10	報告書の作成	山本			

目標設定

攻め所を話し合い、これからやるぞ！というところで目標値が見つからない、想像もつかない。投稿数が増えるのは確実である。そこでAIに聞いてみた。

AIに理想的な投稿件数を聞いてみた！

Ameba ブログ
 ・最初の3から6か月は **週2-3回投稿**
 ・半年以降で慣れて安定してきたら週1回投稿
 ・長期目標で半年から1年で100記事

Instagram
 ・初期(認知を広げたい時期)は **週3-5回投稿**
 ・できるなら毎日投稿が理想なく続けることが最優先
 ・フォロワーが増えてきたら週2-3回でもOK
 ・ルール投稿(短い動画)は週2-4本くらいが理想

目標投稿件数

6月14日までに
 <6月2週間>

アメブロ	週3件→月12件
インスタ	週4件→月16件 内リール投稿 週2件→月8件

メンバーと話し合い、目標が高すぎると仕事の負担になり継続できないので、AIの回答は一般的に説得力があると判断しました。

方策の立案

15点満点

評価点10点以上で採用

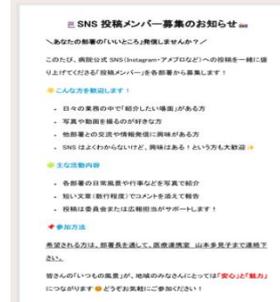
攻め所	方策案	期待効果 ①業務負担	期待効果 ②持続性	期待効果 ③楽しさ	評価点	採用可否
1 投稿者を広げる	資料の作成	3	4	3	10	採
	各部署長に相談する	2	5	3	10	採
2 職員に興味を持ってもらいSNSの世界へ引きずり込む	病院SNSを知り分かち合う	3	4	5	12	採
	各自、自分の携帯でも見れるようにする	4	3	4	11	採
3 チームで協力して投稿できる	投稿予定表の作成	3	4	3	10	採
	チームで投稿の勉強会の開催	3	5	4	12	採
4 投稿注意点の理解 投稿確認作業の簡素化	投稿マニュアルの作成・伝達	3	5	3	11	採
	投稿確認についてディレクターに相談	3	4	3	10	採
5 チームで気軽に話し合える	定期的な話し合いをする	4	4	4	12	採
	チーム名をみんなで考える	2	3	5	10	採

成功のシナリオの追求と実施

今のチームメンバーで、普段からSNSを使っているのは4名中1名、他の3名は見てはいるが投稿に関しては無に等しい。やる気はあるが、不安はいない。投稿者を増やすのが最優先と考えた。攻め所ごとに、リーダーを決めて役割分担をしました。

攻め所 1 投稿者を多部署に広げる **担当リーダー：Yamamoto**

方策案	具体策1	具体策2	期待効果	実現性	影響	総合評価
資料の作成	投稿者募集の案内作成	気さくに、明るい感じで分かりやすさを重視 現状把握のデータも添付実際の投稿も資料とする	○	○	○	採
各部署長に相談	できた資料の説明	リーダーがしっかりと悪さ等も説明し、協力が必要である事を強調する	◎	○	◎	採



メンバー4名から7名になり、5部署に広がった。

攻め所 2 職員に興味を持ってもらいSNSの世界へ引きずり込む **担当リーダー：Mori**

方策案	具体策1	具体策2	期待効果	実現性	障害	総合評価
職員に病院SNSを知ってもらおう	身近で見れる携帯にうとい方が多い	休憩室など、パソコンが設置されている所で見れるようにする 苦手な方向けの資料作成	◎	○	○	採
各自、自分の携帯でも見れるようにする	休憩室・食堂・タイムカードにポスターを掲示	目立つ様なQRコード付の資料の作成と掲示	◎	○	○	採
	各部署に配布する	掲示したポスターを各部署に配布する	◎	○	○	採

- 【ポスターを作成】
- 各部署に配布
- タイムカード、休憩室、食堂に掲示



攻め所 3 チームで協力して投稿できる **担当リーダー：Kanda**

方策案	具体策1	具体策2	期待効果	実現性	影響	総合評価
投稿予定表の作成	チームメンバーを知る	チームメンバーの得意・不得意などを把握してチーム分け	◎	◎	◎	採
	イベント情報の収集	月間投稿予定表の作成出来る限り均一分担	○	◎	◎	採
チームで投稿の勉強会	全員での勉強会	初めはログインから！来れないメンバーには個々で行う	◎	○	○	採
	投稿練習	リマインドマーケティングで練習しながら夕日の投稿	○	◎	○	採

メンバーと面談 → チーム分けと投稿予定表の作成

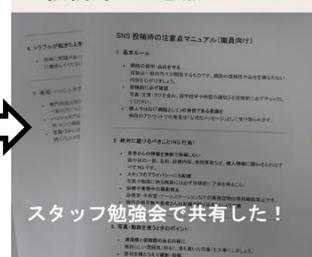


投稿予定表	5月 投稿予定	
部署	アメブロ	インスタ
総務	3	—
栄養	2	—
健管名	1	4
医連名	6	12
リハ	—	2
病棟	—	2
	12件	20件

攻め所 4 投稿注意点の理解
投稿確認作業の簡素化 **担当リーダー：Chikamochi**

方策案	具体策1	具体策2	期待効果	実現性	影響	総合評価
投稿マニュアルの作成・伝達	投稿の注意点を抽出する	マニュアルの作成し共有する	◎	◎	◎	採
投稿確認についてディレクターに相談	【ブログ】現状の掲載確認方法を確認する	ディレクターにログインしてもらい確認してもらおう	○	◎	◎	採
	【インスタ】現状の掲載確認方法を確認する	タイムリーな投稿なのでマニュアルに沿っているか確認が必要	○	◎	○	採

◆投稿時の注意点マニュアル



◆掲載確認方法

下書きができたなら、LINEワークスでマネージングディレクターに、掲載タイトルを明記し送信する。ディレクターの確認後に投稿する。

投稿者以外に、マニュアルを把握している者1名以上に見てもらってから投稿する。

スタッフ勉強会で共有した！

攻め所 5 チームで気軽に話し合える **担当リーダー：Tonooka**

方策案	具体策1	具体策2	期待効果	実現性	影響	総合評価
チーム名を考える	チームみんなで、案を出し合う	チームみんなで決める	◎	◎	◎	◎
定期的な話し合いができる	全員が集まるのは難しい月1回とかでは今一つ	ラインワークスのトークルームを使えば毎日でも話せる	◎	◎	◎	採

全員で話し合い チーム名を決めました！

チーム名 HeartLine
心と心をつなぐ

ラインワークスでトークルームの作成

いつでもどこでも話ができます！

効果の確認

ブログ	インスタ (投稿)	インスタ (リール投稿)
4月2日 在宅医療セミナー 4月3日 イブニングセミナー 4月5日 イベント 4月10日 イブニングセミナー 4月15日 巡回診療 4月24日 イブニングセミナー	4月7日 夕陽 4月8日 夕陽 4月9日 夕陽 4月10日 夕陽 4月12日 夕陽 4月14日 夕陽 4月15日 夕陽 4月16日 夕陽 4月17日 夕陽 4月18日 夕陽 4月19日 夕陽 4月21日 夕陽 4月22日 夕陽 4月23日 夕陽 4月24日 夕陽 4月25日 夕陽 4月26日 麻上科の日 4月26日 夕陽・健康講座 4月28日 看護科発行日誌 4月28日 夕陽 4月30日 夕陽	4月1日 子供体験 4月26日 ICLS
6件	21件	2件

ブログ	インスタ (投稿)	インスタ (リール投稿)
5月1日 イベント 5月1日 みんなの家輪読会 5月2日 5月外来スケジュール 5月2日 ICLL研修会報告・フォローアップ 5月7日 イベント 5月7日 健康診断・予約方法 5月11日 毎日のイベント 5月11日 新人研修部・1ヶ月経過 5月21日 ママのパン販売 5月21日 5月の巡回診療 5月22日 看護科発行日誌 5月23日 看護科総会の開催 5月24日 麻・診カンファレンスの開催 5月27日 みんなの家輪読会	5月1日 5月外来スケジュール 5月1日 夕陽 5月2日 夕陽 5月2日 巡回診療 5月6日 こどもの日イベント 5月7日 駐車場からの夕陽 5月8日 トンボロ 5月8日 実習からの夕陽 5月9日 患者さんの寄り添い 5月9日 前の夜急入 5月9日 リハ室のトマト 5月10日 透析室でてる朝まで 5月12日 網球の夕陽 5月14日 田舎からの夕陽・石川先生 5月19日 仕事終わりに健康 5月20日 駐車場からの夕陽 5月21日 健康オムツ勉強会 5月26日 夕陽は止んだけど 5月26日 夜の病院 5月28日 池代地区に伺いました	5月8日 外産連検 5月8日 土肥クリニック 5月9日 フォロワー100増え 5月12日 高松からの夕陽 5月15日 健診より 5月17日 切り絵と寄り添い 5月17日 外来終了と後援 5月19日 みんなの健康チェック 5月19日 看護部「ボクサー」 5月20日 訪問診療 (松尾医師) 5月21日 健診準備中 5月21日 ママのパン販売 5月22日 リハビリカンファレンス 5月23日 フォロワー200増え 5月23日 タクソリビリティ勉強会 5月24日 イモムシみたい 5月26日 岩手地区に行ってきました 5月27日 健診・夏の検査 5月27日 外来勉強会 (便秘) 5月27日 リハビリ室・リルート 5月28日 健診・トンボロの中 5月30日 透析室のご案内
14件	20件	22件

ブログ	インスタ (投稿)	インスタ (リール投稿)
6月2日 6月外来スケジュール 6月4日 ゲスト透析案内 6月5日 松崎小学校でBLS講習 6月6日 イベント 6月9日 令和7年度永年勤続表彰式 6月9日 仲祖しょうじょう診療の案内 6月11日 理事長賞受賞	6月5日 6月外来スケジュール 6月7日 葉巻花井当 6月12日 イブニングセミナー	6月2日 骨粗しょう症検査 6月4日 在宅医療懇話会 6月5日 病院内で健康診断 6月5日 保育園で事業所後診 6月6日 坂本壮先生が来院 6月7日 西伊豆市・宇久須神社 6月9日 骨の健康チェック 6月9日 海南看護学院でICLS講習会 6月13日 訪問診療に行ってきました
8件	3件	10件

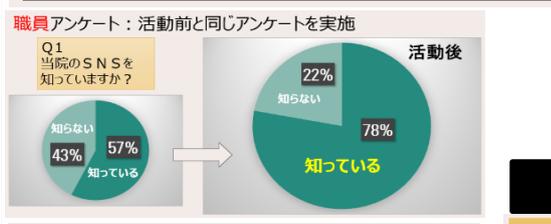
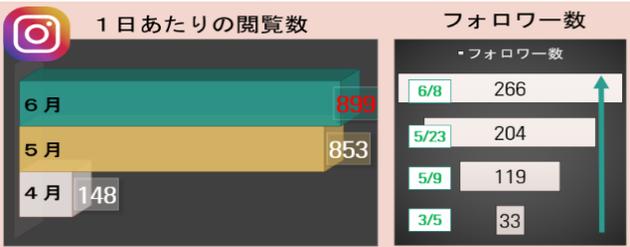
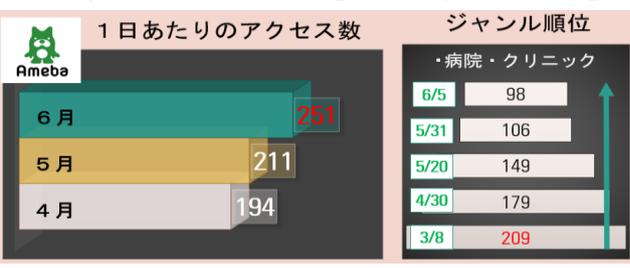
目標	6月14日(2週間)の結果		
アメブロ	週3件→月12件	2週間8件	週4件
インスタ	週4件→月16件 内リール投稿 週2件→月8件	2週間13件 内リール投稿 2週間10件	週6.5件 内リール投稿 週5件

目標達成です！！ 【有形効果・無形効果】

【有形効果・無形効果】 アメブロ・インスタの投稿者

Ameba ブログ ・医療連携室 3名
・健康管理室 2名
・総務 1名
・栄養科 1名 **5 → 7名**

Instagram ・医療連携室 3名
・健康管理室 2名
・病棟 1名
・リハビリ 1名 **1 → 7名**



スタッフアンケート：7名 無記名
ラインワークスを使用 回答 7名 100%

このチームに参加してどうだったか？

これからも続けられる **はい** **いいえ**

やりがいはあった **はい** **いいえ**

業務負担は無かった **はい** **いいえ**

楽しめた **はい** **いいえ**

参加してよかった **はい**

標準化と管理の定着

なぜ (目的)	誰が (担当)	いつ (期間)	どこで (場所)	何を (項目)	どのように (方法)
標準化	森井 山本	毎月・月初	各SNS ホームより	投稿件数 実施状況を	管理画面から 確認し共有
教育	神田	適宜	食堂で	SNSの投稿について SNSの見方を	新しいメンバーや希望者に説明
維持管理	山本	3ヵ月ごと	各部署へ	投稿者を確保するため	働きかけを工夫する
チームワークの向上	森井 山本	半年に1回	地域の飲食店での	食事会を	ディレクターに相談

ストーリーごとの反省・今後の課題

手順	良かった点	悪かった点
P テーマ選定	上司からの提案で、やれば結果が出る事は想像ができた。	職員が困っている事ではなかったが、病院アピールには非常に重要かと思われたが、なかなかメンバーに説明がむずかしかった。
P 現状把握	比べる対象を、かなり悩ましましたが当院の悪さの抽出ができた。	もっと別のデータも考えられたかもしれない。比べる対象がむずかしい。
P 攻め所と目標設定	攻めどころ候補は、意見がたくさん出て、とっとも良かった。	目標設定がみんなでも悩まされた。結局AIを頼った感じになってしまった。
P 方策の立案	立案しながら、必然的にリーダーが決めた事がよかった。実施計画書を省く事ができた。	期待効果については、メンバー本当に主観的に点数を付けたが、それでよかったか不安だった。
D 成功シナリオの追求	具体策をみんなで話しあえた。	後から、様々な意見が出てきて、変更もあった。
D 成功シナリオの実施	それぞれの項目のリーダーより、つながりがある具体策なので実施しやすかった。	リーダーより、時間がなくて、もっと時間をかけたかった。
C 効果の確認	思った以上の結果となりメンバーで喜びあえた。	無し
A 標準化と管理の定着	とても重要で維持するための意見はチームワークという嬉しい意見が出た。	やってみないと分からないので、今後再調査していく。
A 反省と今後の課題	課題は、全員一致で意見が合った。	無し

今後の課題

まだ、始まったばかりで、今の状況をいかに続けていけるかが課題です。

若い力の導入が必要です！！

HeartLine